

## 第62回津久井地区まちづくり会議全体会結果

- ・日 時：平成30年5月18日（金）午後7時00分～9時20分
- ・場 所：津久井総合事務所3階第1・2会議室
- ・出席者：委員20名出席（4名欠席）
- ・傍聴者： 0名

- 1 開 会 関戸副代表
- 2 あいさつ 落合代表
- 3 区長あいさつ 中島緑区長
- 4 自己紹介 出席委員と事務局職員、次期総合計画及び都市計画マスタープラン策定に関わる津久井地区の担当職員から、それぞれ自己紹介を行った。
- 5 説 明 第62回会議は、第5期の1回目の会議であることから、事務局から津久井地区まちづくり会議の活動や位置づけ等の概要説明を行った。
- 6 報告事項
  - (1) 平成30年度事業計画について  
前期（第4期）委員からの申し送り事項として承認された事業計画について、新期委員に報告した。
  - (2) 地域活性化事業交付金について  
前回の会議で再調整となった継続9年目を迎える3つの事業について、「交付金額を昨年度に相当する金額で調整してほしい」との委員の意見を踏まえ、予算担当課と次の交付金額（前年比80%から93%に引き上げ）で調整し、各団体からも了解を得ていることについて報告した。

地域活性化事業交付金 交付調整結果

NO	事業名	新規 継続	団体名	H30相談額	交付 調整額
				(H29交付額)	
1	花を植えよう事業	継続 9年	花を植えよう会	300,000	350,000
				375,000	
2	道志川写真コンテスト事業	継続 9年	道志川写真コンテスト実行委員会	100,000	112,000
				120,000	
3	津久井湖城山 イルミネーション事業	継続 9年	津久井湖城山 イルミネーション実行委員会	600,000	700,000
				750,000	
4	里山を活かした子どもの遊び 場とおとなのコミュニティス ペース	継続 7年	土沢森あそびの会	100,000	100,000
				100,000	
5	休耕田を復活し災害に 強い棚田を守る事業	継続 5年	農園会	135,000	135,000
				135,000	
6	青根未来遺産プロジェクト	継続 4年	あざおね社中と与する 上青根の会	150,000	150,000
				300,000	
7	こども食堂	新規	食生活改善推進団体わかな会 津久井地区	400,000	400,000
8	ふらっとまるっと津久井特産祭	新規	津久井都市農村交流協議会	400,000	400,000
9	自治会加入促進事業		津久井地区自治会連合会	200,000	200,000
				-	
10	まちづくり会議が提示した地域 課題の解決に資する事業		津久井地区まちづくり会議	200,000	200,000
				200,000	

7 協議事項

(1) 第5期役員及び委員の選出について

まちづくり会議 代表、副代表及び「串川地域小さな拠点活用検討協議会」の委員については、以下のとおり承認された。

◆津久井地区まちづくり会議代表	
NO	氏名
1	落合勝司
◆津久井地区まちづくり会議副代表	
NO	氏名
1	高井 登志子
2	関戸 佐助
◆串川地域小さな拠点活用検討協議会委員	
NO	氏名
1	高井 登志子
2	関戸 佐助

(2) 専門部会の設置について

前期(第4期)で設置していた2つの専門部会を継続すること、部会員の構成については、退任委員があったところに新任委員が所属する案で了承された。

(3) 「次期総合計画及び都市計画マスタープラン策定に向けた地区のまちづくりに係る意見交換について」の概要説明

次回会議で意見交換を実施することを前提として、概要説明のみを行った。

<事務局概要説明要旨>

- ・まちづくり会議での意見交換の進め方について、基本的な考え方や、以降5回実施のスケジュール、意見交換の課題分野の分類等の説明を行った。
- ・次期総合計画・都市計画マスタープランの策定までの流れを説明の後、津久井地区の状況をアンケート結果や人口推計を交えて説明した。
- ・市の財政状況についての説明を行った。
- ・都市計画マスタープランに係るものとして、津久井地区の土地利用状況や、公共交通の状況、災害ハザード等の説明を行った。

<質疑> ( : 委員発言 : 事務局)

意見交換のテーマや課題については、事務局で提示するのか。

毎回、事務局で意見交換のテーマを提示します。

意見交換に使用するワークシートは、使用するのか。できればブレインストーミングの形式にしたい。

付箋を用意しますので、意見を書いていただき、それを事務局が集約してワークシートに転記する方法にします。

意見交換の進め方で、初回は地区の「良くなったところ・悪くなったところ」ということですが、継続して、意見交換で出た結果に対し、悪くなったところを改善する解決策等も討議した方が効率がよいのでは。また、今日は説明のみなので、次回をスムーズに運営するために事前に次回の課題を委員に持ち帰ってもらうこともできるのか。

課題については、持ち帰らなくてもよいのでは、計画されたスケジュールで完了

するように、管理していけばよい。

課題に対する委員の皆様の意見については、その回の意見交換だけではなく、以降も意見を反映できるように対応します。

今後のスケジュールでは4回程度の意見交換を実施するとなっているが、まちづくり会議全体会の開催と併せて実施するのは難しいのでは、もっと回数を増やすのか。

津久井地区では、事業計画にもあったように予備日として5回目を設けています。

前回の会議で、別日に意見交換を実施するのは委員が大変なので全体会の日程に併せることを事務局が提案してくれたと認識している。計5回のスケジュールでできるよう計画されているので、これで実施してみましよう。

意見交換の際のグループ討議について、グループ編成等はどのようにするのか。

グループ編成は、4班編成とし、毎回メンバーを入れ替えます。また、グループ内の進行・発表者・書記等役割は、随時決めて頂くことになります。

## 8 その他

### その他連絡事項

・会議終了後、専門部会ごとに集まり、部会長、副部会長を選出するよう連絡を行った。

・次回の全体会日程 日時：平成30年5月29日(火)午後7時～  
場所：津久井総合事務所3階 第1・2会議室

## 9 閉 会 高井副代表